



議会だより

いの うえ そ ら

今回の題字は、井上大空 さん（甲立小学校6年生）です。

～広島県子ども自転車大会への出場～



～炭焼き体験～



地域とともに歩む



川根小学校



～少人数の特性を活かした一輪車活動～



～地域高齢者との交流活動～

学校紹介シリーズ

新年度予算決まる
3月定例会 2～3
予算審査 4～8

委員会審査報告 9～11

一問一答
15人が市政を問う 12～19

あんなこんな
地域のかがやき 22

可決

(対前年度9億3900万円減 -4.5%)

(対前年度3億4795万円増 +3.1%)

(対前年度1億2911万円増 +26.3%)

(対前年度4億6193万円減 -1.4%)

3月定例会

3月定例会を2月21日～3月14日までの会期で開催しました。

一般会計、特別会計、水道事業会計など13会計の26年度予算及び25年度補正予算は、予算決算常任委員会へ付託し、すべて原案のとおり賛成多数で可決しました。(予算審査は4～8ページに掲載)

総務企画常任委員会へ3議案、文教厚生常任委員会へ1議案、産業建設常任委員会へ1議案を付託し、すべて原案のとおり賛成多数で可決しました。(各常任委員会審査は9～11ページに掲載)

本定例会において、議案48件について、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問では、15人が市政を問いました。(12～19ページに掲載)

■ 諮問 (1件)

人権擁護委員の推薦
山本康則 さん

承認

甲田町下小原

■ 同意 (2件)

教育委員会委員の任命

山本博明 さん

甲田町深瀬

金川佳寛 さん

向原町坂

同意

議案第32号
26年度一般会計予算について

■ 討論

■ 反対

玉重 財政規模が、大きすぎる。将来世代に負担が大きい。

児玉 教育関連に対する予算が年々減額されている。

藤井 委託料の支出根拠が不明確な状況では、認められない。

■ 賛成

宍戸 総合的にバランスのとれた予算編成である。

秋田 将来を見据えた事業の選択と集中を計られた予算編成である。

石飛 急激な行政サービスの低下を避けた行政改革に沿った予算編成である。

前重 財政健全化計画に沿った予算編成である。

採決

■ 反対

玉重、児玉、藤井



■ 賛成

玉井、久保、下岡、前重、石飛、大下、水戸、先川、熊高、宍戸、山本、秋田、青原、金行

26
年度
予算

一般会計総額 200億2000万円

特別会計 116億7977万円
(国民健康保険・後期高齢者・介護保険など11会計)

水道事業会計 6億1967万円

総合計額 323億1944万円



■ 提出議案(2件)

■ 第1号 地方自治体の臨時・非常勤職員の待遇改善と雇用安定のための法改正に関する意見書について

■ 全員賛成

■ 第2号 「手話言語法」制定を求める意見書について

■ 全員賛成

(付議された案件)

条例関係19件

(新たな条例制定又は廃止・条例の一部改正など)

○ 議案第3号 市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【勤務一時間あたりの給与額の改正・6級以上かつ

55歳を超える職員の給与抑制の拡大】

○ 議案第45号 非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例

【消防組織法に基づき、退職報償金の引き上げ】

○ 議案第46号 総合計画策定条例【基本的指針の策定】

ほか16件

公的財産関係2件

○ 議案第11号 財産の無償譲渡について【向原町基幹集会所関係】

○ 議案第12号 財産の無償貸付について【向原町基幹集会所関係】

事業・予算関係

(計画の変更・補正予算など) 27件

○ 議案第20～31号 25年度一般会計補正予算ほか(12会計)

○ 議案第32～44号 26年度一般会計予算ほか(13会計)

○ 議案第47号 工事請負契約の締結について【有線放送設備撤去工事】

○ 議案第48号 工事請負契約の変更について【光ネットワーク整備工事】

貸し付け使用料は 今後の公共施設管理運営基金に 公共施設の屋根等の貸付事業



屋根貸し予定（甲田支所など）

予算決算常任委員会

2月21日の本会議において審査を付託された26年度一般会計・特別会計予算を3月6・7・11日の3日間委員会を開き、慎重に審査しました。

委員長 青原敏治
副委員長 先川和幸
委員 議長を除く全議員

主な質疑

■ 一般会計 ■

■ 一般会計全体

玉重 人件費・物件費が20年度と比較して減っていない。職員数を削減しても、全体的な予算が減らなければ意味がないのでは。

■ 西岡行政経営課長

合併時520人であった職員数が、今

年4月には400人を切る。人件費が減少していないのは、退職者の増加による退職手当組合負担金の増が主な要因であり、一時的な経費で将来的には確実に減る。

物件費は、指定管理や民間委託による増加はあるが、全体的には少しずつ下がる。

秋田 市の単独補助金の今後の方向性は、西岡行政経営課長

今後6年間で約35億円の財源不足が生じる見込みであり、市単独補助金は、6年間で15%削減を目標としている。

総務部
前重 「無料弁護士相談・法律相談」は、社会福祉協議会への委託事業であったが、直営で行う理由

は。杉安総務課長 高齢者を対象として、高齢者福祉課が担当していた。近年、一般の方の相談も増加しているため、広く市民を対象とした直営での相談事業へと組み替えるもの。



美土里支所で保管しているPCB（有害物質）

山本 PCBの現在の保管量と処分費の内訳は。

■ 小笠原財産管理課長

高圧トランス・コンデンサ・安定器が約710キロ。処分費は、国の定める処理場への専門業者の運搬費10万円、処理費2580万円。

地域医療拠点施設整備で安心を！ 佐々部診療所リニューアル補助事業



リニューアル予定の佐々部診療所（高宮町）

■企画振興部

下岡 未来創造事業費が24・25年度と比べ大幅に減少しているが、取り組みに問題は生じないか。

■山平政策企画課長

県の補助金がなくなるため予算額は減

少している。ハード

面の整備は終わっており、今後はソフト面にウエイトを置いた取り組みを進める。

■秋田 お太助フォンの更なる利用促進及び機能向上のための

研究と、システム構築とは。

■広瀬情報政策課長

高血圧の方を対象としたIP血圧計導入事業のシステム構築・お太助フォンを活用した安否確認事業。教育分野でのお太助フォンや光回線を活用した遠隔授業の調査研究や、ICTの観光PR事業の調査研究など。

■市民部

熊高 葬斎場指定管理料4400万円の計上にあたり、25年度1年間の管理を踏まえ、指定管理者に望むことや、管理内容・課題の検討は。

■中村市民生活課長

指定管理者・葬儀事業者・市の3者で連携を取り、ハード・ソフト両面での課題や要望に対応しており、今後取り組みを継続する。



完成した向原こぼと園

■福祉保健部

下岡 公立から私立へ保育園が移行したため減額予算となっているが、逆に私立保育園費は増えている。歳入も増額となっており、私立へ移行したほうが有利と考えてよいか。

■可愛川子育て支援課長

歳出は指摘のとおりに。歳入は、私立の場合は国・県から補助金が入り、効果はあると考える。更に人件費部分が減ってくるため、メリツトはあると考える。

有害鳥獣捕獲体制の再整備

有害鳥獣対策実施隊の設置事業



捕獲されたイノシシ

産業振興部

下岡 新規に「6次産業の推進」を予算化しているが、市はいつまで支援するのか。

猪掛地域営農課長

J Aと共同で進めている「三矢プラン

ド」と、地域振興事業団と共同して実施している「あきたかたのたから」のブランド認証の推進に向け、加工グループ・生産グループの勢いをつけて、「道の駅」等へ充実した加工品

等を提供したいと考えている。
ある程度長い目で見るようにしていきたい。

久保 観光PRの事業委託で、具体的に計画していることは。

小田産業振興部特命担当部長

「観光まち歩き」の新たな展開として、郡山城周辺の毛利関連施設を歩いて巡ることができよう、誘導看板やベンチを設置する。また、食事場所やトイレを案内するマップを作成し、外部に情報発信するなど、観光協会等と連携して取り組んでいく。

建設部

前重 樋門の管理内容と今後の方針は。

賀志古管理課長

本市には、国の樋門69基、県の樋門11基がある。年9回の点検で、国の樋門101



今後も課題となる樋門管理

名、県の樋門12名の操作員報酬を計上している。

今後の管理について、振興会、地元の方にお願ひしていきたい。

学力・体力向上のために！

学習補助員・教育介助員の継続配置 体育専任教員の新規配置



体力向上の取り組み

■教育委員会
熊高 学校での体力向上推進事業の予算付けは充分か。
永井教育長 小学校1校に、体育の授業だけを担当する専任教員の配置を考えている。予算付けも大事だが、現在の体育科授業の充実を図りたい。

このことで、子ども達の体力・生活意欲・学習意欲にどれだけの効果があるかをしっかり分析し、その成果を市内の教職員に伝えることで、各学校での体育科の授業の向上に努め、児童生徒の体力向上につなげたい。

特別会計

■国民健康保険 特別会計

久保 レセプト点検を国保連合会に委託することによる事業効果は。

田村保健医療課課長補佐 レセプト点検は、現在、地域振興事業団へ委託しており、年間900万円かかっている。国保連合会への委託は年間30万円程度で、費用面での効果が大きい。

現在、3市町と1国民健康保険組合の歯科国保を、連合会が行っているが、当市の現状と変わらないため、費用対効果は充分であると考えている。

■簡易水道事業 特別会計

宍戸 簡易水道の区域拡張による整備率と、残る未普及地域への整備方針は。
伊藤上下水道課特命担当課長 整備率85.4%で、今回3%向上する。残る未普及地域の解消は、水源が確保できたところから整備したい。今後の水道事業と、統合による連絡管の接続が、未普及地域の解消につながると考える。



委託実施していたレセプト点検

95.4%で、今回3%向上する。残る未普及地域の解消は、水源が確保できたところから整備したい。

25年度補正予算

各事業精算見込みにより

5300万円減額

(一般会計総額220億2891万円)

可決

甲子園初出場

『新庄学園活動支援補助金』 100万円



感動をありがとう

主な質疑

■総務部

前重 「新庄学園活動支援補助金」を計上した経緯は。

杉安総務課長 本市から多くの生徒が通

学しており、また卒業生も多数おられることから、近隣市町の支援状況も考慮し、総合的に判断し計上した。

■産業振興部

児玉 今年度も「たかみや湯の森財政援助補助金」を増額しているが、今後も補助金を継続しつづけるのか。

小田産業振興部特命担当部長 指定管理料金の見直しも含め、継続して経営できる環境を求めている。

児玉 福祉と連携さ



健康増進に向け活用を

せ、医療費削減効果等、視点を変えていく必要があるのでは。

小田産業振興部特命担当部長 市民の健康福祉に向けての施設利用が増えており、福祉分野と連携し、医療費の削減を含めた取組みを担う施設として進めていきたい。

市長 健康づくりの場として、委員の提案に同感である。

総務企画常任委員会

3月定例会で付託された議案3件を、3月4日に委員会を開き慎重に審査しました。

(主な審査)

- 特別職の職員で非常勤のもの、報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 公共施設管理運営基金条例
- 公の施設の指定管理者の指定について

委員長 山本 優
副委員長 石飛慶久
委員 玉重輝吉
水戸眞悟
熊高昌三
塚本 近

特別職の職員で非常勤のもの、報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

【概要】新たに設置する3つの非常勤特別職（こども発達支援センター長、こども発達支援員、空き家対策専門員）の報酬額を定めるもの

報酬（月額）

こども発達支援センター長 …19万円
こども発達支援員 …17万8千円
空き家対策専門員 …17万8千円

■質疑

熊高 それぞれの資格要件や専門性は。可愛川子育て支援課長 「こども発達支援員」は、保育士の経験のある者を、「センター長」は保育士の資格を持つ者、相談業務の経験のある者を考えている。青山住宅政策課長 「空き家対策専門員」は資格を要する業務ではないが、本市の地理的なものを熟知している方を選みたい。

公共施設管理運営基金条例

【概要】将来の公共施設管理運営に係る経費に充てるため太陽光発電の屋根等貸し付け料を積み立てる基金を設置

■質疑

熊高 土師ダムサイクリングターミナルの指定管理者が、八千代開発公社から新しく「株H・F・S」という企業になった理由は。小田産業振興部特命担当部長 これまで八千代開発公社からレストラン運営を委託されていた「株H・F・S」を指定管理者とし、スポーツ等の受付業務も一体的に行うことで、全体的な利便性の向上と施設利用者の拡大を図るため。

公の施設の指定管理者の指定について

■概要

26年度に協定を締結する33施設の指定管理者を選定したもの。
●新規に協定を締結する指定管理者は原則1年間（2施設）



管理者の変更

文教厚生常任委員会

3月定例会で付託された議案一件を、3月3日に委員会を開き慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市こども発達支援センター設置及び管理条例

(所管事務調査)

○放課後児童クラブの再発防止について

○給食センターの現状と課題について

- 委員長 児玉史則
- 副委員長 前重昌敬
- 委員 玉井直子
- 委員 下岡多美枝
- 委員 青原敏治
- 委員 金行哲昭

安芸高田市中央保健センター内へ
・安芸高田市こども発達支援センター設置



設置予定の市中央保健センター

概要

心身の発達の遅れのある児童又は、そのおそれのある児童に対し、早期からの療育を通して心身の発達を促すとともに、その保護者が障害に関する理解と認識を深め、子育ての不安を軽減できるよう支援する。

- 〔設置時期〕 26年6月1日
- 〔職員体制〕 保健師1名
保育士2名
療育相談員1名

- 療育教室 (1歳6ヶ月児)
- 個別相談 (発達にかかる相談)

質疑

青原 支援センターの利用対象は、乳幼児の保護者となつていますが、児童の保護者も相談出来る体制があるか。
可愛川子育て支援課 長 基本的には乳幼児の保護者を対象。

小学校入学後も教育委員会と連携を図り支援していく。

金行 こども発達支援員には資格等必要か。

可愛川子育て支援課 長 就学前の子ども達からのサインは、遊びの中から得る事が多く、保育士の資格で支援員の確保を考えている。

下岡 対象となる子どもの人数は。

可愛川子育て支援課 長 五十名程度おられる。

前重 予測される相談内容は。

岡野児童福祉係主査 多動、注意欠陥、注意転導性、本人がうまく自分の感情や行動をコントロールできないなど、集団生活に関する相談が多くなっている。

所管事務調査

NPO法人「子育て応援隊かんばん」不正支出疑惑による再発防止について

1. 権限の分離
理事の増員 (3名から10名へ)
会計担当増員 (会計担当理事4名へ)
事務担当増員 (事務担当4名へ)
2. チェック体制の強化
施設間の連絡 (施設間相互の情報交換を積極的に行う)
月初めの施設管理者会議の改善 (開催場所を市役所会議室で行い、市担当職員の出席)
3. 監査体制の構築 (内部監査2回、外部監査の導入)
4. 総会運営の適正化 (正会員を増員)
5. 運営費の管理体制強化 (数段階のチェックが機能する体制強化)

陳情書

「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情」

〔陳情者〕 一般社団法人広島県ろうあ連盟
〔要旨〕 手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に使える、言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とする。
〔審査の経過〕 上記の陳情は委員会で採択し、諸手続きを経て関係機関へ意見書を提出することとした。

産業建設常任委員会

3月定例会で付託された議案1件を、3月6日に委員会を開き慎重に審査しました。

(主な審査)

○簡易水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

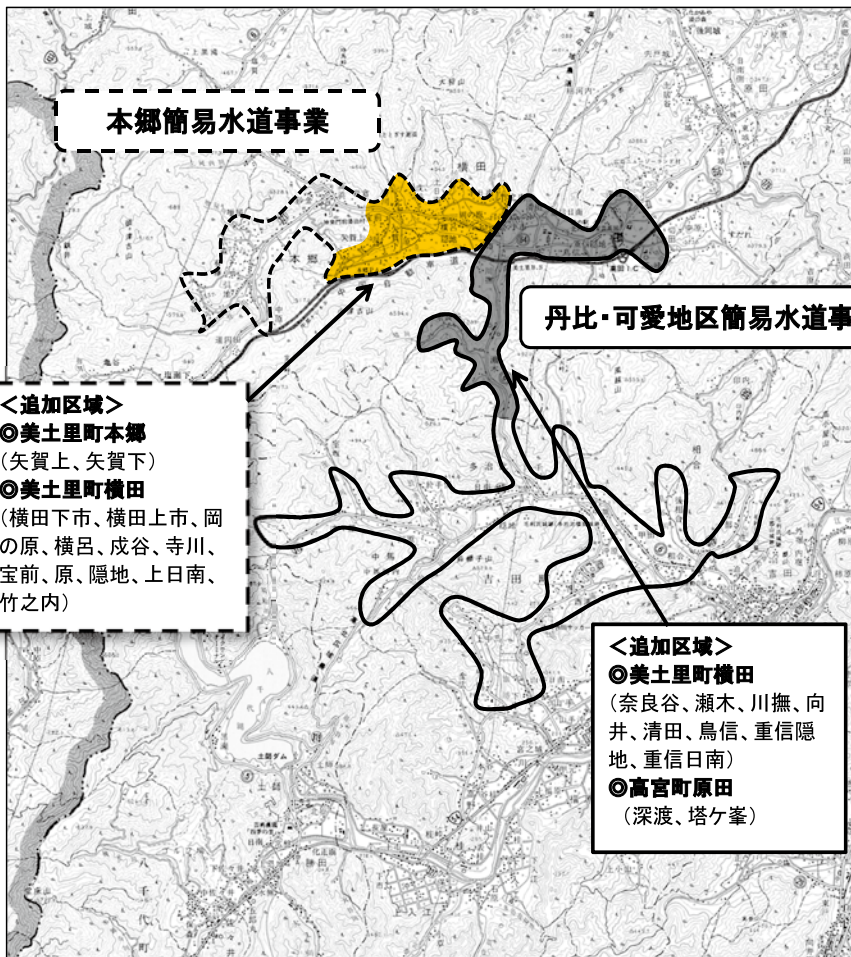
(所管事務調査)

- 空き家対策について
- 有害鳥獣対策・ジビエ活用の方角について
- 森林未利用財利用促進協議会の取組状況について

- 委員長 大下正幸
副委員長 穴戸邦夫
委員 久保慶子
先川和幸
秋田雅朝
藤井昌之

給水区域を拡張

美土里町本郷、横田、高宮町原田の一部へ



簡易水道事業の設置等に関する条例の一部改正

■概要

「丹比・可愛地区簡易水道事業」及び「本郷簡易水道事業」において、給水区域の拡張を行い、水道未普及地域を解消するため、条例の一部を改正するもの。

所管事務調査

今後の空き家対策は

受け身から脱却し、積極的活用に向け、2300件の空き家を徹底調査。

所有者が、売るか、貸すのか、保持するのかの意向を調査する。調査のために地理的に判断できる専門スタッフの配置をする。



市政を問う



**適規模所規
進計画推
正化推**

**財政措置と
保・小・中連携は**

**市長／実態を把握し
検討する**



水戸 眞悟
(絆)

水戸 保育所規模適
正化推進計画を推進
するに当たっては、
その実態に即した保
育施設整備や安全施
設対策等保育環境の
整備が望まれるが、
財政的措置は。

市長 少子化を踏ま
え、多様な保育ニー
ズへの対応と効率的
な保育所運営を図る
ため、保育所規模適
正化推進計画を策定
した。子供たちの健
全な育成は行政の大
きな課題と受け止め

る。美土里町におけ
る2保育所の統合に
ついても、施設整備
や安全確保等の財政
措置は、保護者や地
域の意見を尊重し実
態を把握して検討す
る。

水戸 保育環境の整



地域連携 ひまわり保育所

その他の質問

○新葬斎場「あじさ
い聖苑」の運営上
の課題について

備充実により、就学
前教育の観点から
保・小・中により濃
密な連携教育が望ま
れるが。

教育長 必要性を認
識している。中長期
的な観点で小学校統
合などの経過を熟視
しながら、地域特性
を生かした連携教育
に一層取り組む。

一問一答

15人が

宍戸 市の臨時・非常勤職員の待遇を改善して安定した雇用を確保し、若者定住を図る考えは。
市長 地方公務員制度、社会情勢、民間の状況及び他の地方公共団体の動向を注



宍戸 邦夫
(無所属)

若者定住

民有空き地の有効活用策は

市長／地元業者と連携し考えている

宍戸 民有地を政策的に購入して宅地造成し、若者定住用地として販売する考えは。
市長 市が土地を購入し販売する手法は今考えていない。民有地については、一定の要件が揃えば工事費の一部を補助する「優良住宅団地開発支援補助金制度」を設けており、官民一体となって地域の活性化、若者定住対策を推進したい。

視しながら、適切な賃金及び報酬を定めるとともにあらゆる任用形態を探りながら議論していきたい。



望まれる民有空き地の有効活用

下岡 異常気象が続く現在、学校の教室は、扇風機や温風ヒーターなどを使用している。省エネと教室環境の充実を考慮し、新たなエアコン設備の考えは。
教育長 地球温暖化などが原因とみられる「夏季の教室の環境の悪化」に伴う空調設備の整備は、経費を要するが重要な課題として前向きに検討したい。



下岡 多美枝
(無所属)

教育環境

基礎学力を学ぶ教室の空調設備の整備は

教育長／重要な課題で前向きに検討

下岡 少子化により保護者も減少し、広大な学校敷地の管理が追いつかず、先生が整備されているが、環境整備事業者



改善が望まれる教室環境

委託はできないのか。
教育長 財政実態を考えると困難な状況だが、教職員の負担軽減は大切である。対応できない事は、業務委託を検討する。

その他の質問

○給食センターの集団食中毒予防対策について

給食センター
食材購入

市内業者への
配慮は

教育長／向上するよう
引き続き努力する



先川 和幸
(無所属)

先川 全市開通後の
お太助フォンの反応
は。
市長 良いという評
価と操作方法が解り
にくいという苦情も

先川 光ファイバー
網を利用しての屋外
スピーカーの設置は。
市長 技術的には可
能であるが、その必
要性・有効性、また
財政面から今のところ
予定していない。

あった。改善できる
ものはしているが、
今後とも定例の運営
会議等で改善を図る。

先川 給食センター
の食材購入の状況は。
教育長 24年度実績
では、市内業者数は
19で、購入額は全体
の52%。一方、市外
業者数は48%である。

先川 市内業者への
割合が少ないのでは。
教育長 市内産調達
を大前提としてお
り、市内業者への割
合が少しでも向上す
るよう引き続き努力
する。



給食センターに搬入された地場産野菜

NPO法人「かんがるー」刑事
告発は 市・行政の責任は

放課後児童クラブ
の今後は

市長／特別監査の結果をまつ



藤井 昌之
(無所属)

藤井 委託契約の内
容・事業計画・報告
書のチェックは。

市長 委託契約は年
度ごとに、チェック
は市の委託した内容
に則したものである
か審査している。と
もに、市の監査委員

に特別監査をお願い
しており、5月末を
めどに監査をまとめ
市に提出してもらう
予定。

藤井 NPO法人の
運営費には県費や市
費、保護者が払った
利用料もあり、市も
独自に調査をすべき
であり、市の責任は。

市長 補助金の交付
と違い、委託業務で
あるということをご
理解願いたい。民法
上は人格を持つ法人
と定義されており、
契約を締結した後
は、業務内容の履行
がされていけば、経
営方針について指示
するべきではないと
考える。



放課後児童クラブ

市内の団体や個人の会員数は61。観光情報の提供を行っており、イベントカレ

久保 念願の市観光協会が発足して一年。現在2名体制だが、十分との認識か。
市長 市観光協会は、市の歴史・文化・自然や施設等の資源をつなぎ、効果的な情報発信により観光交流人口を拡大し、地域経済の向上を図るため、昨年6月に設立した。



久保 慶子 (無所属)

市観光協会

現状と課題は

市長／緊密に連携し、活動支援する

ンダーの発行を予定している。
協会発足から間がないため、観光メニ



安芸高田市観光協会事務所

ユ一の企画開発や周遊ルートの開設などが十分とはいえない。事務局が2名で勤務体制に余裕がなく、不在の折は電話を商工観光課へ転送しており、緊密に連携し、活動を支援していく。

金行 公共施設の建物の設置状況、利用状況分析調査の結果から、建物に幾らの維持・管理・改善費用等の設備投資が必要か、市民へ広報する必要が有ると考えるが。



金行 哲昭 (政友会)

公共施設の再編案を市民へ

市長／審議し市民に周知する

市長 建物の保存や解体にあたっては、耐震性の問題や将来にわたっての費用対効果を審議し、市民に周知をしていく。

金行 総務省の事業に「地域おこし協力隊」がある。人口減少や高齢化へ対応するため、人材を積極的に誘致し定住・定着を図り、地域力を維持・強化するため、本市でも地域おこし協力隊の設置を求めるが。



解体予定の旧向原公民館

保健、医療、福祉の拠点とするのか

市長／総合相談、健康づくり、介護予防事業等幅広く事業展開を図る

中央保健センター



前重 昌敬 (絆)

前重 このセンターに効率的かつ一体的な保健・医療・福祉の拠点となる機能をもたすのか。
市長 今後、総合相談、健康づくり、介護予防事業等の拠点として幅広く事業展

開を図っていく。

前重 相談機能を一括に集約するのか。
武岡福祉保健部長

これまで市社会福祉協議会で実施していた弁護士相談等は

別途用意する。

その他の質問
○福祉バスふれあい号について

○防府市・安芸高田市との姉妹都市交流について



総合福祉の拠点として期待される中央保健センター



熊高 昌三 (無所属)

熊高 国の法改正を間近に控え、地域包括ケアシステムをどのように考えているか。

市長 その実現には医療と介護の連携。在宅と施設の連携強化。利用者一人一人に対し、医療・介護福祉に係る多様な職種が連携し、さまざまなサービスや資源を活用し、継続的に支援することが重要と考えている。

熊高 具体的な取り組みは。

市長 現在、JA吉田総合病院が市と連携して「在宅医療推進プロジェクト会議」を設け、多職種

高齢者福祉

地域包括ケアシステムの具体的な考え方について

市長／高齢者・障害者・子どもを含むすべての市民のための仕組み



JA吉田総合病院主催「在宅医療推進 多職種連携研修会」(3月14日向原みらい)

連携研修会を実施している。

○木質バイオマスボイラー活用について

その他の主な質問

○教育委員会制度・道徳教育・学校規模適正化について

○健康増進及び疾病予防とデータヘルスについて

青原 再度質問。お太助フォンの屋外スピーカー設置については。市長 全市にとって必要かという検討もしてみたい。議会の中でも議論していた



青原 敏治 (あきの会)

お太助フォン

屋外スピーカーの設置は

市長／しっかり調査する



屋外スピーカーの再利用を

だきたい。ただ、近隣市町でも必要性の話はあまり聞かない。今のお太助フォンでどうしても防災的に外へ出してやらなければいけないというのであれば考えた

い。せっかく提案をいただいたので、広島県や全国的にこういうことが要るのかどうかしつかりと調査してみたい。費用も明示し、検討をしていきたい。

大下 イベントのチケット販売について、面積の広い本市にあつては、地理的に考えて各文化センターで販売するべき

大下 最後のお別れに來られて駐車場に車が置けない。台車が2台のため霊柩車から棺がなかなか降るせない。積雪時に車椅子・高齢者・障害者用の駐車場枠が使用できないなどの様々な課題があるが。市長 市民があじさい聖苑を利用して良かったと思えるように改善を重ね修正していくのが基本なので、要望を100%改善するよう努める。



大下 正幸 (あきの会)

ではないか。教育長 今回一部のセンターでの販売となったが、今後最善

の努力をさせていただきたいと思う。



改善が望まれる障害者用駐車場

葬斎場

あじさい聖苑の課題は

市長／要望は100%改善するよう努める

商工業振興

新規創業支援の充実と対策は

市長／関係機関との緊密な連携で



秋田 雅朝
(政友会)

秋田 事業促進のため「新規創業補助金制度」の検討はできないか。
市長 難しい課題だが、市独自の課題として受け止め、商工

秋田 商工業の活性化は地域経済の発展につながる。そのため、新規創業支援策等の充実支援が必要と考えるが。
市長 市は商工会へ活動支援を行い、県の創業支援策の紹介をしている。市単独の支援としては、新規事業でネットショップの開設を考慮しており、今後も関係機関との連携で事業者への支援を行って参りたい。



議会と商工会青年部の意見交換会

会青年部からの要望があることも踏まえ、制度や事業支援について少し時間をいただきたい。
その他の質問

- 消費増税に対する補助金対策について
- 中小規模水力発電の取り組みについて

子育て環境の充実について

少子化対策

市長／さまざまな施策を展開し子育て環境の整備をしていく



玉井 直子
(無所属)

玉井 これまで少子化対策で行われてきた施策とその効果は。
市長 さまざまな子育て支援に係る施策を展開し、「子どもを産み・育てやすい」環境整備につなげている。平成22年度か



子育て支援策で設置されている「病後児保育室」

らは「安芸高田市次世代育成支援行動計画」を基本としながら、施策を展開している。これらの施策は子育て世帯の負担軽減になっている。

玉井 時代はどんどん変化しているの
で、本当にどの施策が必要か調査することも大事では。
市長 子育て事業と

いうのは大事な事業なので、費用対効果等を検証して次の展開に結ぶことが大事と考える。できる範囲の調査をしながら次のステップにつなげる。

- その他の質問
- 子育て婚活定住促進団地について
 - 空き家の活用について

将来への投資

削減が続く教育
予算の考え方は
市長／耐震工事の終了。教育の
質の部分は減っていない



児玉 史則
(絆)

児玉 昨年度、本年度と施政方針に占める教育の方向性および予算は大変寂しい。その優先順位は。
市長 軽視している訳ではない。費用対効果を見ながら検討期間と捉えている。

児玉 教育は目先の効果でなく、将来への投資という視点が抜けているのでは。
市長 費用対効果という考えは少し訂正する。ただ、教育を

疎かにしている訳ではない。

児玉 全国学力テストで小学校は県平均を下回り、また市外の中学校に進学される生徒数は昨年より



タブレット端末を使った授業風景（向原中学校）

更に増え8.3%となつている。危機感が足りないのでは。
市長 問題は認識している。学習補助員など独自の施策を展開しているが、成果がでるよう人材育成を含め勉強していきたい。

その他の質問
○地方債残高337億円
の削減について

職員定員適正化
について

職員減

市長／計画以上に
進行している



山本 優
(絆)

山本 合併時より職員が大幅に減少している。その分臨時職員が増加しているが。
市長 臨時職員は必要数のみ確保する中で、職員人件費と比べても財政的な効果は出ている。今後も

民間委託を進めたい。

山本 職員の能力向上、やる気対策は。

市長 職員からの政策提案や異動希望調査などを積極的に取り入れている。

山本 パソコン導入でコミュニケーションが薄くなっている。現場での体験も必要では。

市長 本人の自覚が大事であるが適切な指導をしていきたい。

山本 メールを使つてのパブリックコメントの活用は。

市長 活用したいと考えているが、事例など参考に、調査・研究課題としたい。



民間委託している窓口受付業務

26
年度
予算

一般会計 5億7381万円

可
決

(対前年度 797万円増) ごみ投入ホッパー等大規模修繕による)

芸北広域環境施設組合
議会(きれいセンター)

3月26日、芸北広域環境施設組合議会が北広島町で開催され、議案4件を審査し、すべて原案のとおり可決しました。

(主な審査)

- 専決処分の承認を求めることについて
- 芸北広域環境施設組合において北広島町の条例を準用する条例の一部を改正する条例
- 平成26年度芸北広域環境施設組合一般会計予算に対する関係市町の負担割合について
- 平成26年度芸北広域環境施設組合一般会計予算

組合議会議員

- 塚本 近
- 青原敏治
- 穴戸邦夫
- 大下正幸
- 石飛慶久

(主な歳入)

- 市町負担金
- ・ 安芸高田市

2億5768万円

- ・ 北広島町

1億3992万円

- 交付税

1501万円

- ごみ処理手数料

1億 657万円

(主な歳出)

- ごみ処理費

5億1797万円

■ 主な質疑

Q 消費税引き上げによるゴミ袋代はどうなるか。

A 26年度は変更の考えはありません。

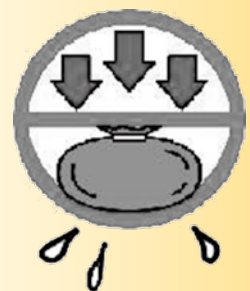
Q 生ごみ減量のため生ごみしぼり機の導入は。

A センターでの導入は考えていません。

種類別ごみの搬入数量	(1月～12月) 24年暦年実績 / t	(1月～12月) 25年暦年実績 / t	比較 %
可燃ごみ	6,789	6,947	2.33
不燃・有害ごみ	407	412	1.21
粗大ごみ	378	398	5.35
容器包装ごみ	84	81	-3.31
家電5品目	0.4	0.7	75.68
計	7,658.4	7,838.7	2.35

※燃えるごみは増加傾向

生ごみの70～80%は水分です
水分を切って出しましょう！



26年1月～3月の議会の活動状況

月	日	曜日	会議等の名称	会議の主な要旨
1	8・16・21・29		議会広報特別委員会	議会だより第40号の編纂
	20	月	全員協議議会	市長報告、議長報告等
	1/20・2/14		議会運営委員会	第1回定例会の運営について
2	21	金	26年第1回定例会（開会）	施政方針・26年度予算の上程
			全員協議会	議会報告会のまとめについて
	25	火	予算決算常任委員会	25年度補正予算の審査
	26～28		26年第1回定例会（一般質問）	質問者15人
	28	金	全員協議会	議会改革について
3	3	月	文教厚生常任委員会	付託議案審査1件、陳情要望等1件
	4	火	総務企画常任委員会	付託議案審査3件、市長報告2件
	5	水	産業建設常任委員会	付託議案審査1件、所管事務調査
	6・7・11		予算決算常任委員会	26年度予算の審査
	11	火	議会運営委員会	第1回定例会の追加議案について
	14	金	26年第1回定例会（閉会）	委員長報告、議案の採決
			全員協議会	市長報告、議長報告等
			議会運営委員会	議会基本条例について
27	木	議会広報特別委員会	議会だより第41号の編纂	

■26年第2回定例会は6月に開催を予定しています。

※ 詳細は、通知広報・お太助フォン・市のホームページでお知らせいたします。

傍聴記

八千代町
丸本一広さん

今回初めて傍聴し立派な議場設備に感心。質疑応答は事前質問回答で、質問したよ、回答しましただけに終わり消化不良の面もあった。質問者の声も聞き取りにくく、また3台の大きな画面の活用方法の工夫をされればさらに生きているのでは。また傍聴者の座席にメモが取れる様な座席が欲しかったです。

甲田町
馬場勇治さん

今回、一般質問事項やそれに対する市側の答弁を大いに期待して傍聴しました。まず、議員の積極性に感心しました。しかし、自分が期待した内容とかなり乖離がありました。

その感じた事は、まず、①安芸高田市の将来像や、それに伴って市民の生活が今後どう変化しどのように行政と関わっていくのか。②将来像を見据えたうえで次年度予算にどう反映・工夫しているのか。など、高所大所からの政策議論に物足りなさや、一般質問でなくとも委員会ですればいろいろな質問事項もあったように感じました。

地域のかがやき

吉田 地域とともに



第1回郷野ぬかピカレース (12月4日)

八千代 ひの川幼稚園「和太鼓演奏」



八千代の文化祭 (2月23日)

美土里 若い人と楽しんでます



第3回美土里グラウンドゴルフ大会 (3月23日)

高宮 いい汗かいてます!



下佐公民館ズンバ体操

甲田 「共同・協力・和」の心



深瀬地区圃場整備事業竣工 (3月30日)

向原 新こぼと園 がんばってね



向原こぼと園 園旗授与式 (3月28日)

編集後記
 表紙は、学校紹介シリーズ第一弾、川根小学校です。

安芸高田市では平成22年度より教育振興基本計画「みつや協育」を掲げ、「夢と志をもちあしたを拓く、心豊かな人づくり」を基本とし、各学校が教育目標を立て特色のある教育活動に努められています。学力や人格形成の基礎を育む大切な義務教育9年間の内、小学校では6年間を過ごします。多くの方に接して多くのことを学び、生きる力の基礎を得る場です。

国際学生科学技術フェアの入賞者から、小学校時代の身内への思いから、インターネットを活用して、がん発見の画期的な方法を発見した15歳の男子がいます。目標に向かって挑戦すれば、いつかは達成できます。子ども達が幸多き人生を歩む事を祈ります。

(石飛 慶久)

〈発行責任者〉

議長 塚本 近

〈議会広報特別委員会〉

委員長 石飛 慶久

副委員長 六戸 邦夫

委員 玉井 直吉

委員 久保 子

前重 昌敬